

2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）



2024年8月9日

上場会社名 株式会社アバールデータ
コード番号 6918
代表者（役職名）代表取締役社長
問合せ先責任者（役職名）取締役管理本部部長
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
URL <https://www.avaldata.co.jp/>
（氏名）菊地 豊
（氏名）熊澤 陽一（TEL）042-732-1000

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第1四半期の業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	2,939	△14.7	379	△44.5	447	△40.1	311	△41.9
2024年3月期第1四半期	3,446	△4.0	684	24.0	746	27.1	537	26.2

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期第1四半期	50	66	—	—
2024年3月期第1四半期	87	29	—	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期第1四半期	百万円 24,479	百万円 20,976	% 85.7
2024年3月期	27,503	22,780	82.8

（参考）自己資本 2025年3月期第1四半期 20,976百万円 2024年3月期 22,780百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 51.00	円 銭 —	円 銭 266.00	円 銭 317.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	39.00	—	55.00	94.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	6,000	△6.3	870	△25.6	940	△25.8	680	△26.1	110.42
通期	13,300	5.7	2,190	4.5	2,285	0.5	1,650	△68.6	267.93

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年3月期1Q	7,417,842株	2024年3月期	7,417,842株
2025年3月期1Q	1,259,569株	2024年3月期	1,259,498株
2025年3月期1Q	6,158,296株	2024年3月期1Q	6,155,242株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】3ページ(3)「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資が持ち直し、景気は一部に足踏みがみられるものの緩やかに回復しております。一方で世界経済では、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や中国経済の先行き懸念が、海外景気の下押しリスクとなり、先行きが不透明な状況となっております。

当社に関連深い半導体製造装置市場は、設備投資需要については、足元では回復の兆しも見られますが、部材等の在庫調整は続いており、発注までの需給ギャップの解消には、なお時間を要する状況となっております。

このような経営環境のもと、当社では、引続き中長期での需要の増加に備えた必要な先行投資を行いつつ、お客様の装置の付加価値向上に資する製品の提供に努めてまいりました。一部で在庫調整が生じ、当第1四半期以降にずれ込んだことから、売上高は若干弱含みながら概ね想定どおりで推移いたしました。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は2,939百万円(前年同四半期比14.7%減)、新たな開発拠点として山梨R&Dセンターの建築工事が完了したことから、建物の減価償却及び備品購入等並びに研究開発費の増加により、営業利益は379百万円(前年同四半期比44.5%減)、経常利益は447百万円(前年同四半期比40.1%減)、四半期純利益は311百万円(前年同四半期比41.9%減)となりました。

当社は、事業内容を2つの報告セグメントに分けております。当第1四半期累計期間におけるセグメント別の状況は次のとおりであります。

① 受託製品

当該セグメントは、半導体製造装置関連、産業用制御機器および計測機器の開発・製造・販売を行っております。部材入手難の解消が進み、受注残の製品が完成、納品されましたが、一部で在庫調整が生じ、全般的な産業用装置における設備投資は、想定をやや下回り推移いたしました。

この結果、売上高は1,886百万円(前年同四半期比15.1%減)、セグメント営業利益は276百万円(前年同四半期比33.4%減)となりました。

当該セグメントの品目別売上の状況は次のとおりであります。

イ) 半導体製造装置関連

当該品目は、半導体製造装置の制御部を提供しております。部材の供給難の解消が進み、受注残の製品の完成、納入が進み、一部で在庫調整が生じましたが、若干弱含みながら、概ね想定どおり推移いたしました。

この結果、売上高は1,579百万円(前年同四半期比14.0%減)となりました。

ロ) 産業用制御機器

当該品目は、各種の産業用装置、社会インフラ関連の制御部の開発・製造を行いカスタマイズ製品として提供しております。増加局面にあった検査装置関連の一部取引先が調整局面となりましたが、概ね想定どおり推移いたしました。

この結果、売上高は228百万円(前年同四半期比10.2%減)となりました。

ハ) 計測機器

当該品目は、各種計測機器のコントローラ、通信機器の制御部の開発・製造を行いカスタマイズ製品として提供しております。一部顧客の受給調整があり、想定を下回り推移いたしました。

この結果、売上高は78百万円(前年同四半期比39.5%減)となりました。

② 自社製品

当該セグメントは、組込みモジュール、画像処理モジュールおよび計測通信機器の開発・製造・販売と、自社製品関連商品の販売を行っております。受注残の製品が完成、納入されたことにより、概ね想定どおり推移いたしました。

この結果、売上高は1,052百万円(前年同四半期比14.1%減)、セグメント営業利益は291百万円(前年同四半期比31.5%減)となりました。

当該セグメントの品目別売上の状況は次のとおりであります。

イ) 組込みモジュール

当該品目は、半導体製造装置、医療機器関連、FA全般、電力・通信関連向けに提供しております。医療機器関連および電力関連を中心に想定を上回り推移いたしました。

この結果、売上高は150百万円(前年同四半期比12.2%減)となりました。

ロ) 画像処理モジュール

当該品目は、FA全般、各種検査装置、液晶関連機器に提供しております。受注残の一部解消に伴う出荷が一服したことから、想定を下回り推移いたしました。

この結果、売上高は365百万円(前年同四半期比28.5%減)となりました。

ハ) 計測通信機器

当該品目は、超高速シリアル通信モジュール「GiGA CHANNEL」シリーズを提供しております。「GiGA CHANNEL」シリーズ関連の検査装置向けの受注は、全体として想定を上回り推移いたしました。

この結果、売上高は504百万円(前年同四半期比1.0%増)となりました。

ニ) 自社製品関連商品

当該品目は、自社製品の販売促進とシステム販売による高付加価値化を図るため、ソフトウェアおよび付属の周辺機器を提供しております。自社製品関連商品は、想定を上回り推移いたしました。

この結果、売上高は32百万円(前年同四半期比26.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産は24,479百万円(前事業年度末比3,024百万円の減少)となりました。

増加要因として、投資有価証券から一年内満期予定の債券を有価証券へ振替えたことにより99百万円増加、原材料及び貯蔵品が334百万円、有形固定資産が441百万円それぞれ増加しております。

原材料及び貯蔵品の増加は、顧客に対する供給責任を果たすため原材料を購入し確保しておりますが、当社に関連深い半導体製造装置市場の設備投資需要の影響により、発注までの需給ギャップが生じており在庫が増加しております。

また、有形固定資産の増加は、主に、新たに開発拠点として、山梨R&Dセンターの建築が完了したことで、固定資産の計上を行ったことによります。

減少要因として、現金及び預金が、未払法人税等の納税および配当金の支払い並びに有形固定資産の取得と一時的な支出等が重なったことにより2,666百万円減少しております。その他、商品及び製品が140百万円、仕掛品が48百万円、投資有価証券が時価変動等の要因により787百万円それぞれ減少しております。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債は3,503百万円(前事業年度末比1,220百万円の減少)となりました。

増加要因として、支払手形及び買掛金が142百万円、その他が277百万円それぞれ増加しております。

減少要因として、未払法人税等が1,310百万円、賞与引当金が187百万円、役員賞与引当金が53百万円、繰延税金負債が88百万円それぞれ減少しております。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は20,976百万円(前事業年度末比1,803百万円の減少)となりました。

主に、利益剰余金が1,326百万円、その他有価証券評価差額金が477百万円、それぞれ減少しております。

(自己資本比率)

当第1四半期会計期間末における自己資本比率は85.7%(前事業年度末は82.8%)となりました。

なお、自己資本比率は、当社の経営指標の一つとしており、自己資本比率80%以上を目標としております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の予想につきましては、概ね計画通りに推移しており、現時点では、2024年5月14日付「2024年3月期 決算短信」に公表いたしました数値からの変更はございません。

また、今後、業績に影響を及ぼす事態が生じた場合には速やかに適時開示を行います。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,038,361	6,371,786
受取手形、売掛金及び契約資産	2,340,956	2,091,576
電子記録債権	229,451	244,797
有価証券	—	99,773
商品及び製品	1,008,490	868,158
仕掛品	408,928	360,676
原材料及び貯蔵品	5,679,895	6,014,646
その他	137,736	126,002
流動資産合計	18,843,820	16,177,416
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,151,701	1,151,701
その他(純額)	1,699,913	2,141,672
有形固定資産合計	2,851,614	3,293,373
無形固定資産		
	40,880	39,972
投資その他の資産		
投資有価証券	5,645,205	4,857,400
関係会社株式	25,500	25,500
前払年金費用	16,248	16,742
その他	80,571	69,368
投資その他の資産合計	5,767,525	4,969,011
固定資産合計	8,660,021	8,302,357
資産合計	27,503,841	24,479,774
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,509,146	1,651,600
未払法人税等	1,332,846	22,057
賞与引当金	320,157	132,672
役員賞与引当金	74,600	20,650
その他	237,260	515,015
流動負債合計	3,474,010	2,341,997
固定負債		
繰延税金負債	1,247,413	1,159,147
役員退職慰労引当金	2,230	2,230
固定負債合計	1,249,643	1,161,377
負債合計	4,723,653	3,503,374

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,354,094	2,354,094
資本剰余金	2,558,299	2,558,299
利益剰余金	15,396,145	14,070,001
自己株式	△906,079	△906,243
株主資本合計	19,402,460	18,076,152
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,377,727	2,900,247
評価・換算差額等合計	3,377,727	2,900,247
純資産合計	22,780,187	20,976,399
負債純資産合計	27,503,841	24,479,774

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	3,446,702	2,939,235
売上原価	2,291,545	2,044,540
売上総利益	1,155,156	894,694
販売費及び一般管理費	471,000	514,867
営業利益	684,156	379,827
営業外収益		
受取利息	26	66
受取配当金	62,081	64,969
受取賃貸料	120	100
助成金収入	—	1,548
その他	274	849
営業外収益合計	62,502	67,533
営業外費用		
為替差損	—	21
営業外費用合計	—	21
経常利益	746,658	447,339
特別損失		
固定資産除却損	77	—
特別損失合計	77	—
税引前四半期純利益	746,581	447,339
法人税、住民税及び事業税	87,097	13,078
法人税等調整額	122,163	122,285
法人税等合計	209,260	135,364
四半期純利益	537,320	311,975

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	受託製品	自社製品	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,221,151	1,225,550	3,446,702
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,221,151	1,225,550	3,446,702
セグメント利益	414,535	425,162	839,697

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	839,697
セグメント間取引消去	—
全社費用 (注)	△155,541
四半期損益計算書の営業利益	684,156

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	受託製品	自社製品	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,886,428	1,052,806	2,939,235
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,886,428	1,052,806	2,939,235
セグメント利益	276,129	291,301	567,430

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	567,430
セグメント間取引消去	—
全社費用 (注)	△187,603
四半期損益計算書の営業利益	379,827

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	23,579千円	39,938千円